

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 146 号

2005 年 4 月発行

ヒト由来細菌情報

感染症発生動向調査検査定点からの検体検査で A 群溶レン菌が検出された。

食品由来細菌情報

病原菌は検出されなかった。

環境由来細菌情報

河川水腸管系病原菌検査では、O1&0139 以外のコレラ菌、サルモネラ菌が検出された。
浴槽水の検査からレジオネラ属が検出された。

集団発生情報

県域での発生

食中毒様胃腸炎の発生は 2 事例あり、うち 1 事例からノロウイルスが検出された。
また、感染性胃腸炎の発生は 1 事例あり、ノロウイルスが検出された。
集団かぜ患者からインフルエンザウイルス A (H3) 型が分離された。

県域外発生関連調査

他の自治体で発生した食中毒様胃腸炎からノロウイルスが検出された。

ウイルス情報

検査定点からの依頼によるもの

2 月に採取された検体から検出されたウイルスは、インフルエンザウイルス A (H3) 型が 45、同 B 型が 75、コクサッキーウイルス A16 型が 1、アデノウイルス 2 型が 1、ロタウイルスが 1 およびノロウイルスが 5 であった。

(微生物部・地域調査部)

表1 ヒト由来検査件数及び病原菌検出状況（検査材料取扱い機関別）

（平成17年2月）

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	424	217	392	1716	173(2)	56	267	285	92	193	124	3939(2)	6	3945(2)
レンサ球菌 A群													1	1

平成17年2月、ヒト由来の検体3945件を検査した。検査定点より依頼のあった溶血レンサ球菌感染症患者1件からA群溶レン菌（血清型T11型）が検出された。

表2 食品由来検査件数及び病原菌検出状況（検査材料取扱い機関別）

（平成17年2月）

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	12	2	3		5	2		8	4			36	20	56

平成17年2月、食品由来の検体56件を検査したところ病原菌は検出されなかった。

表3 環境由来検査件数及び病原菌検出状況（検査材料取扱い機関別）

（平成17年2月）

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	3	6	6	45	6			8				74	23	97
01 & 0139以外のコレラ菌													2	2
サルモネラ 04群													3	3
サルモネラ 07群													2	2
サルモネラ 08群													1	1
レジオネラ ニューモフィラ 1群				4								4		4
レジオネラ ニューモフィラ 2群				2								2		2
レジオネラ ニューモフィラ 3群				2								2		2
レジオネラ ニューモフィラ 4群				2								2		2
レジオネラ ニューモフィラ 5群				2								2		2
レジオネラ ニューモフィラ 6群				5								5		5
レジオネラ ニューモフィラ 7群				1								1		1
レジオネラ ニューモフィラ 9群				3								3		3
レジオネラ ニューモフィラ12群				1								1		1
レジオネラ ニューモフィラ15群				3								3		3

平成17年2月、県内定点10ヶ所の河川水腸管系病原菌調査を行ったところ、01&0139以外のコレラ菌2件、サルモネラ04群3件（血清型Agona, Saintpaul, 型別不能）、07群2件（血清型Infantis）、08群1件（血清型Hader）が検出された。

小田原保健所では浴槽水39件の検査を行ったところ17件からレジオネラ（*L. pneumophila*）が検出された。血清型は2群、4群、6群、15群（各2件）、3群、9群（各1件）、1群、5群、1群、7群、1群、9群、1群、12群、5群、6群、6群、15群、3群、6群、9群の同時検出（各1件）であった。

表4 ウイルス検出状況(月別)

(平成17年 3月31日現在検出分)

月 検出ウイルス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	平成 16 年計	1	2	平成 17 年累計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	0	1	2		月	月	
インフルエンザ AH3	107	48	4										159	14	47	61
インフルエンザ B	1	2											3	21	75	96
パラインフルエンザ 3							1						1			
R S											1	2	3			
コクサッキー A2							3						3			
コクサッキー A4							4	1					5			
コクサッキー A6						2	1						3			
コクサッキー A9						1							1			
コクサッキー A12							1						1			
コクサッキー A16							3	2		2	2		9		1	1
コクサッキー B1								2					2			
コクサッキー B4								1					1			
コクサッキー B5								1				1	2			
エコー 6								1					1			
エコー 18				2	1		4						7			
ムンプス				1									1			
アデノ 2							1						1		1	1
アデノ 3					1	1	3			1	1	2	9	3		3
アデノ 40/41						1							1			
単純ヘルペス 1														1		1
口 タ		1	2										3		1	1
ノ 口	46	26	20	21		2		3		27	7	180	332	101	21	122
未 同 定							1	2					3			
合 計	154	77	26	24	2	7	22	13	0	30	11	185	551	140	146	286

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成17年 3月31日現在検出分）

疾患名 検出ウイルス	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	そ の 他	合 計
取り扱い検査件数	18	1		173			2	35	2	231
インフルエンザ A H 3				47						47
インフルエンザ B				75						75
コクサッキー A 1 6		1								1
アデノ 2				1						1
口 タ	1									1
ノ 口	12							9		21

集団発生

- ・平成17年2月、県域でノロウイルスが原因の食中毒様事例が1例あり、患者便9検体中8検体からノロウイルスが検出された。この事例では、調理従事者便5検体および食品2検体についても検査を行ったがノロウイルスは検出されなかった。また、ノロウイルスが検出されなかった1事例では、患者便9検体、調理従事者便10検体の検査を行った。
- ・感染性胃腸炎の集団発生は1事例あり、患者便9検体のうち7検体からノロウイルスが検出された。
- ・他の自治体から依頼のあった食中毒様1事例の患者便2検体のうち1検体からノロウイルスが検出された。
- ・集団かぜ患者2集団のうがい液8検体から、インフルエンザウイルスA(H3)型2株が分離された。

発生動向調査の病原体検査定点からの依頼によるもの

- ・感染性胃腸炎の患者便9検体を検査したところ、5検体からノロウイルスが、1検体から口タウイルスが検出された。
- ・手足口病患者の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスA16型が1株分離された。
- ・インフルエンザ様患者165名の咽頭拭い液（または鼻腔拭い液）の検査を行ったところ、インフルエンザウイルスA（H3）型45株、同B型75株、アデノウイルス2型1株が分離された。また、意識障害を伴うインフルエンザ様患者1名の髄液および咽頭拭い液の検査を行ったが、ウイルスは分離されなかった。